

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 一般 - 79

学校名・団体名	東大阪市立柏田中学校
HPアドレス	http://www.city.higashiosaka.lg.jp/school/kashita-j/
コース	学校支援
活動・研究テーマ	グループ学習を活用したアクティブラーニング
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>これまで講義形式を中心に行ってきた授業では、教員主導の一方向的になることが多く、学びから逃避してしまう生徒がみられた。また、ノートを取り真面目に授業を受けているようにみえても本人にとって深い学びになっていないことも多々あった。一昨年度あたりから一部の教科ではあるが、授業の中で、一斉と少人数グループでの学び合いを取り入れることで、学びから逃避していた生徒が授業に参加する姿が見られた。それを受け、全校体制で、少人数グループを活用した「学び合い」の授業を推進する。</p>	

研究の内容

(1) 学習教材の整備・充実と活用

わかりやすい授業をめざし、ICT 機器（書画カメラ、モバイル型 PC 等）を積極的に授業に取り入れて展開した。英語・数学ではデジタル教科書を利用し、よりわかりやすい授業をめざして取り組んだ。また、グループ学習を行う際にミニホワイトボードの活用を始めた。

(2) 授業改善にむけて

①校内研究

<今年度の重点課題>

- ・授業のはじめに本時のめあてを提示する。
- ・学習の振り返りをする。
- ・生徒どうしが学びあいのある授業を展開する。

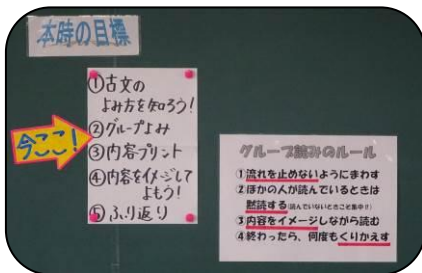
<今年度の研究主題>

『自ら学び考え、表現する力の育成』

<今年度の研究仮説>

「本時のめあてを明確にし、仲間と共に課題に取り組むことで学ぶ力が育まれる」

- ・年間3回の全体授業研究会を開催し、事前のプレ研究会を含めて計6回、「協働的な学び」のスーパーバイザーの馬場宏明先生に「授業改善の意識の変化や学校の取組み状況」を客観的に見ていただき助言をいただいた。
- ・討議の柱を、学びあいと授業規律とし、毎回、全教員で意見交流をする場を設け、教員どうしの学びを深めていった。
- ・グループ学習のルール、授業の展開を生徒に随時見える形で掲示することにより、より一層の意識付けを行った。



②教員間の授業見学

授業観察シートを作成し、1時間に1名の授業参観者を週の時間割に割りあて、教員が互いの授業を参観し高め合うことをめざした。それにより、授業研究を日常的に行うことができ、教員どうしが、教科の壁を越え、授業を通して想いを語り合い、指摘しあえる時間をもつことができた。

「わかりやすい授業づくり」のための授業デザイン

大切にしたい視点	授業づくりの要素	実践できている	常態している	常態できていない
構造化	本時の目標を提示し、課題を生徒が理解している。			
	ペアやグループ学習を通して、仲間と共に学び合う場を設けている。			
環境づくり	教員の声のトーンは高すぎず、自然な声量である。			
	グループ学習での生徒の声の大きさは適当であるか。 教員の説明は、長すぎず、わかりやすいか。			
集団づくり	「わからない」といえる、間違いや失敗を大切に学習が進められている。			
自己存在感	承認・賞賛・励ましの言葉をかけ、一人ひとりに応じた改善課題や方法を示している。			
	生徒が「わかった」「できた」という達成感をもてる工夫をしている。			
授業規律	3分前には持ち場に行き、チャイム着席の入室指導を行っている。			
	始業と終業の時刻を守っている。			
	始業時と終業時には、あいさつと身だしなみの確認を行っている。 活動意欲を削ぐような発言や不適切な発言に対して、適切な指導をしている。			

③先進校視察

今年度は、全教職員研修として、12月16日に開催された東大阪市立金岡中学校の公開授業研究会に参加させていただき、協働的な学びの手法を全体で共有し実践につなげる機会を設けた。また、堺市立美原中学校、広島市立祇園東中学校にも学力向上部を中心に視察させていただいた。

(3) 9年間を見通した『学びのSTANDARD』について

授業は、めあてを提示し、生徒どうしが学び合うペア・ワーク、グループ学習を導入、全体で共有し、ふりかえりをする、という授業スタンダードを確立にむけて取り組んだ。校区内の幼・小・中が校種間連携し、授業交流や研修を進める中で、共通して取り組むことのできることも増やしていく。グループ学習の導入と書く・聞く力の育成は、校区で共通して力を入れていくよう確認した。



中学校2年と小学校6年生と合同授業の開催



柏田小学校・長瀬西小学校5年生の合同授業



中学校3年と長瀬西幼稚園での保育実習

(4) 保護者・地域への周知

本校の学力向上の取組みは、P.T.A.実行委員会や学校協議会で報告し、常に保護者、地域住民、地域組織へと発信している。その中でいただいた貴重な意見をもとに、職員全員で話し合いながら取組みを進めてきた。

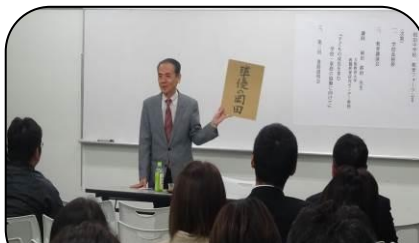
今年度も、6月12日・11月12日に「柏田中教育フォーラム」を実施した。2時間の全学級の公開参観授業では、授業者が簡易の指導案を作成し、参加者全員に配布し自身の授業力向上にむけて取り組んだ。また、1月20日には、中学校区の幼稚園・小学校・中学校合同で、来年度の人権教育総合推進地域事業の本発表にむけ、プレ発表会を開催した。



平成28年度 柏田中学校フォーラムⅠの様子（平成28年6月12日）



平成28年度 柏田中学校フォーラムⅡの様子（11月12日）



プレ発表会全体会（1月20日）

(5) 次年度につなげて

授業改善に取り組み始めて5年目になる。これまで重点的に取り組んできた、授業のはじめに本時のめあてを提示すること、学習の振り返りをする、生徒どうしが関わり合いのある授業を展開することに関して一定の成果が出てきている。全教員で同じ方向に向かって授業改善してきた成果だと言える。具体的には、丁寧な校内研究を繰り返してきたこと、日常的な授業見学による教員の授業力向上が成果につながっていると思われる。

課題は、その授業改善を生徒の学力の定着に生かすことである。今後もグループやペアを取り入れた授業を行い、深い学びの生まれる授業づくりを進めていきたい。